

平成22年度

事業の記録

2010



財団法人 鹿児島県国際交流協会

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION

目 次

《事業の記録》

第1	国際理解の増進	
1	情報収集提供機能の拡充	1
2	広報出版活動の充実	2
3	国際理解の推進	3
第2	国際交流活動の展開	
1	海外との相互交流の推進	6
2	在住外国人との交流促進	8
3	国際交流組織の連携・支援の強化	9
4	国際交流ボランティア制度の拡充	11
第3	多文化共生の推進	
1	在住外国人と日本人の相互理解の促進	13
2	異文化交流の促進	14
第4	国際協力の推進	
1	留学生への支援	16
2	国際協力に対する理解の促進	17
3	国際協力機関等との連携	17
第5	協会体制の確立	
1	管理運営の充実	18
2	組織基盤の確立	18
3	組織機構の拡充強化	18
4	財産基盤の確立	19

第 1 国際理解の増進

1 情報収集提供機能の拡充

(1) インターネットによる情報収集提供機能の充実

インターネットによる情報の収集・提供（平成10年度開始）

インターネットによる情報収集を行うとともに、ホームページの充実を図り、県民及び在住外国人に多種多様な情報を提供した。

年 度	内 容
平成22年度	日本語・英語・中国語・韓国語のホームページの各種情報の随時更新を行うとともに、事業報告書等の情報公開資料の掲載を行った。 また、メーリングリストなど、Eメールを活用した情報提供を行った。
21年度	
20年度	

(2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

ア ライブラリーの整備

(ア) 図書類の整備・利用促進（平成2年度開始）

海外渡航や留学情報、アジア・太平洋諸国をはじめとする世界各国の最新事情及び語学学習や異文化理解、交流の基礎となる鹿児島県の理解に役立つ図書類の収集・充実を図り、閲覧に供するとともに、貸出サービスを行った。

また、外国語新聞や雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

【図書類】

平成22年度末	平成21年度末	平成20年度末
2, 6 8 2 冊	2, 5 6 2 冊	2, 4 5 3 冊

図書の分野：辞書・辞典，語学，外国事情，留学関係，国際理解，日本文化，日本理解等

【定期購読新聞・雑誌】

年 度	内 容
平成22年度	外国新聞 [4紙] 人民日報，Sunday Times，東亜日報， The Japan Times 外国語雑誌 [5誌] 週刊韓国，人民中国，読者，TIME，中国語ジャーナル その他 [2誌] 月刊日本語，月刊スッカラ

(イ) ビデオテープの閲覧サービス

ビデオテープの閲覧のサービスを実施した。

【ビデオの分野】海外情報，日本紹介，鹿児島県紹介，国際交流，国際協力等

(ウ) 外国テレビ放映サービスの実施（BS放送：平成2年度，CS放送：平成15年度開始）

外国テレビ放送（英語・韓国語・中国語放送）の放映サービスを行った。

イ 情報提供サービスの推進

県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め，国際理解の増進を図った。

ウ 相談機能の充実（平成21年度開始）

在住外国人（特に中国人）からの相談等に応じる交流相談員を配置し，相談機能の充実を図った。

【主な相談内容と件数（交流相談員が受けた相談件数のみ）】

ア 日本人相談内容

年 度	留学	外国情報	外国語	交流	生活	その他	合 計
平成22年度	1 件	9 件	2 8 件	2 5 件	3 9 件	4 1 件	1 4 3 件
平成21年度	3 件	3 件	1 2 件	1 3 件	1 9 件	2 5 件	7 5 件

イ 外国人相談内容

年 度	就労	観光	ビザ	生活	医療	その他	合 計
平成22年度	2 件	0 件	4 件	4 1 件	1 件	2 0 件	6 8 件
平成21年度	6 件	0 件	2 件	7 件	0 件	1 8 件	3 3 件

(3) 情報発信の拡大

より多くの県民並びに在住外国人の方々に当協会を知ってもらうために、日本語、英語、中国語、韓国語の協会パンフレットを積極的に配付した。

2 広報出版活動の充実

(1) 情報誌の発行

県民向け又は在住外国人向けの情報誌を発行した。

誌 名	暖 流	South Wing	国際交流ひろば
言 語	日 本 語	英 語	日 本 語
発行開始年度	平成 5年度	平成元年度	平成12年度
平成22年度	1 回 2,500部	1 回 1,000 部	12 回 各 800部
21年度	1 回 2,000部	1 回 800部	12 回 各 800部
20年度	1 回 2,000部	1 回 800部	12 回 各 800部
平成22年度の 主な記事	第16回外国人による日本語スピーチコンテスト、かごしま国際交流フェスティバル、韓国全羅北道文化探訪の日本語・日本理解講座、かごしま国際交流フェスティバル、県内体験事業、青年海外協力隊OBと留学生が先生事業、県国際交流員による文化紹介講座、県内在住外国人による公募型国際理解講座、～パンダ&コアラ国際交流～指宿市と当協会との協働事業、日本語・日本理解講座、多文化共生地域づくり事業、香港城市大日本語研修、鹿児島県青少年海外ふれあい事業、21世紀東アジア青少年大交流計画、なんとかしなきゃプロジェクト、プラザ情報	第15回外国人による日本語スピーチコンテスト、在住外国人のための日本語・日本理解講座、かごしま国際交流フェスティバル、県内在住外国人による公募型国際理解講座、CIRコーナー、プラザ情報	県内国際交流・国際協力のイベント情報等
配 布 先	県民向け 市町村、民間交流団体等、 地域国際化協会、県内学校	在住外国人向け 市町村外国人登録窓口、 県内大学、民間交流団体等	県民向け 県内学校、県庁、公共施設等

(2) 刊行物の発行等

国際交流・協力に関する刊行物を発行し、地域の国際化に資した。

平成22年度	・平成21年度事業の記録（ホームページにて発行）
21年度	・平成20年度事業の記録（ホームページにて発行）
20年度	・平成19年度事業の記録（ホームページにて発行） ・留学生のための生活ガイドブック

3 国際理解の推進

(1) 文化講座等の開催

ア 県国際交流員等による文化講座等の開催（平成15年度開始）

県国際交流員による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

また、県内各地に出向き、多くの県民が異文化体験できる機会の提供に努めた。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講 師	会 場
平成22年度	4回	157名	「ことば」を通してシンガポールの多文化共生を体験しよう！、自分づくり講座・国際理解講座（枕崎市）、第16回まるごと伊集院フェスティバル（日置市）、英語deクッキング「アメリカの真っ赤なケーキ!?!」	県国際交流員（シンガポール、アメリカ、韓国、中国）	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ 各市町村会場 他
21年度	6回	302名	中国文化紹介講座（枕崎市）、2009ふるさと秋祭り（始良町）、まるごと伊集院フェスティバル（日置市）、シンガポールのお菓子、ビストロ交流会（湧水町）	県国際交流員（シンガポール、カナダ、韓国、中国）	
20年度	5回	250名	幸運を呼ぶアートKolam体験講座、韓国の家庭料理講座、中国文化の話の聞こう、カナダ料理教室（加治木町）、2008ふるさと秋祭り（国際交流コーナー、始良町）	県国際交流員（シンガポール、カナダ、韓国、中国）	

イ 在住外国人による公募型国際理解講座の開催（平成21年度開始）

在住外国人が実施する国際理解講座を公募し、これらの外国人による講座の開催を支援することを通して、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成した。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講師出身国	会 場
平成22年度	3回	61名	・フィリピン食文化講座「フルーツサラダを作りましょう！」 ・タイ王国食文化講座「グリーンカレーを作りましょう！」 ・中国文化教室「中国の切り絵を体験しよう！」	・フィリピン ・タイ ・中国	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ

平成21年度	5回	86名	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国食文化講座「サムゲタン」 ・インドネシア食文化講座「ピサン・ゴレン」 ・ミャンマー文化紹介講座 ・ナイジェリア食文化講座「エグシスープ」 ・エジプト文化紹介講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国 ・インドネシア ・ミャンマー ・ナイジェリア ・エジプト 	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ
--------	----	-----	---	--	----------------------

ウ ランチタイム・イングリッシュ・クラブ（平成4年度開始）

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	講 師（鹿児島県国際交流員）	会 場
平成22年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） リュ ウェンイェン（シンガポール） レイチェル・アンナ・シーマン（アメリカ） 許 原韶 ケナード（シンガポール）	国際交流プラザ
21年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール） リュ ウェンイェン（シンガポール）	
20年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール）	

エ 中国語ランチタイムトーク（新規：平成22年度開始）

中国語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「中国語ランチタイムトーク」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	講 師（鹿児島県国際交流員）	会 場
平成22年度	火曜日	12:00~13:00	孫 維鉄（中国）	国際交流プラザ

オ 中国・韓国文化理解・会話テキストCDの頒布（平成19年度開始）

県民の外国人接客能力向上や在住外国人との交流を図り、本県の国際化を進めることを目的に、鹿児島県が制作した、中国・韓国文化理解・会話テキストCDを頒布し、県民と外国人との交流及び県民の国際理解の促進を図った。

(2) 国際理解プログラム事業の実施

ア 「協力隊OBと留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施（平成7年度開始）

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、留学生や青年海外協力隊のOB・OG等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会で実施した。

年 度		平成22年度	平成21年度	平成20年度
派 遣 学 校		41校	47校	45校
参 加 者 数		2,259名	1,993名	2,205名
講 師	留学生	20名	28名	27名
	協力隊OB・OG	41名	47名	45名

*後援：鹿児島県，鹿児島大学，鹿児島県教育委員会，JICA九州国際センター

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解，国際交流，国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して，民族衣装や国旗，地図等の貸出しを行うとともに，その整備・充実を図った。

年 度	国 旗	地 図	民族衣装
平成22年度	14回	2回	12回
21年度	23回	0回	17回
20年度	26回	2回	19回

第 2 国際交流活動の展開

1 海外との相互交流の推進

(1) 海外派遣交流の推進

ア 青少年国際協力体験事業の実施（平成 2 年度開始）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

年 度	対象地域	団員数	主な派遣先	派遣期間	同行者数
平成22年度 (第19回)	鹿児島市, 鹿屋市, 霧島市, 南さつま市, 南九州市, 実行委員会枠	13名	インドネシア ゴワ県 タナバンカ地区 ビナバサ村	8月1日(日)~8日(日) (8日間)	6名
21年度 (第18回)	鹿児島市, 鹿屋市, 枕崎市, 南さつま市, 南九州市, いちき串木野市, 実行委員会枠	14名	ラオス人民民主 共和国 ビエンチャン県 ナーソン村	7月19日(日)~26日(日) (8日間)	4名
20年度 (第17回)	鹿児島市, 鹿屋市, 枕崎市, 霧島市, 南さつま市, 南九州市, 実行委員会枠	14名	ラオス人民民主 共和国 ビエンチャン県 ポンミー村	7月20日(日)~27日(日) (8日間)	6名

イ 韓国全羅北道歴史文化探訪団派遣の実施（平成 2 1 年度開始）

本県と交流のある韓国全羅北道に県民を派遣し、今後の更なる交流促進を図った。

年 度	派遣期間	派遣人数	内容
平成22年度	9月8日(水)~12日(日) (5日間)	13名	・全羅北道各所の見学 ・キムチ作り ほか
21年度	9月23日(水)~27日(日) (5日間)	13名	・全羅北道各所の見学 ・コチジャン作り ほか

ウ 海外留学の支援

(ア) 留学関係情報の提供及び相談（平成 2 年度開始）

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行った。

年 度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
相談件数	30件	5件	12件

(イ) ワーキング・ホリデー促進への協力（平成 1 1 年度開始）

ワーキング・ホリデーに関する書籍の整備や掲示板で最新情報の掲示を行った。

また、ワーキング・ホリデーを希望する本人や家族からの旅行先、手続き・方法等について、相談に応じた。

年 度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
相談件数	13件	6件	8件

(2) 広域的受入事業

ア 大学生の受入（平成20年度開始）

本県と交流のある香港の日本語学習を希望する大学生に対し、日本語及び日本文化学習の機会を提供し、本県との交流促進を図った。

年 度	受入大学等名	受入数	研 修 期 間	研修内容
平成22年度	香港城市大学	12名	7月13日(火) ～8月3日(火)	日本語研修 ホームステイ 各所視察 日本文化体験（着付け・日本料理等） 大学生等との交流
21年度	香港城市大学	12名	7月14日(火) ～8月4日(火)	日本語研修 ホームステイ 各所視察 日本文化体験（着付け・日本料理等） 大学生等との交流（香港の料理を調理）
20年度	香港城市大学	12名	7月15日(火) ～8月5日(火)	日本語研修 ホームステイ 各所視察 日本文化体験（着付け・日本料理等）

イ 鹿児島県青少年海外ふれあい事業による青少年の受入（新規；平成22年度開始）

県からの受託事業として、香港からの青少年を受入れ、ホームステイや本県青少年との交流を通して、相互理解と交流の促進を図った。

年 度	受入国・地域	受入数	受 入 時 期
平成22年度	香港	17名 (内青少年15名)	平成22年8月17日(火)～8月24日(火)

ウ 高校生の受入（21世紀東アジア青少年大交流計画）（平成20年度開始）

国が企画した「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、マレーシア他の中高生を受け入れ、ホームステイ等を通じて友好関係の醸成を促進した。

年 度	受入国・地域	受入数	受 入 時 期
平成22年度	マレーシア、チャイニーズタイペイ	22名	平成22年12月1日(水)～12月9日(木)
21年度	ベトナム	18名	平成21年12月4日(金)～12月9日(水)
20年度	香港・マカオ	43名	平成20年7月18日(金)～7月19日(土)
	ベトナム	18名	平成20年12月4日(木)～12月10日(水)

エ 国際観光船入港時の協力（平成2年度開始）

国際観光船の寄港時等に主催者や関係機関と連携し、語学ボランティアを紹介するなど必要な協力を行った。

年 度	日 時	観光船名	内 容	参加者数
平成22年度	平成22年4月20日(火)	レジェント・オブ・ザ・シーズ号	通訳（韓国語）	1名
	平成22年8月6日(金)	コスタクラシカ号	通訳（韓国語）	1名

21年度	平成22年3月13日（土）	オイローパ号	通訳(ドイツ語)	1名
20年度	—			

2 在住外国人との交流促進

(1) 国際交流活動の促進

市町村・団体等への支援（平成2年度開始）

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、企画立案等の相談に応じるとともに、後援の形で必要な協力を行った。

年 度	共催件数	後援件数
平成22年度	0件	12件
21年度	0件	9件
20年度	0件	10件

(2) 「かごしま国際交流フェスティバル」事業の開催（平成20年度開始）

体験型のプログラムなどを通して、世界の国々や異文化の存在を肌で感じ、国際交流・国際理解への関心を高めることなどを目的としたフェスティバルを実施した。

実施に当たっては、NGOとの連携及び在住外国人との共生の促進を図るため、NGOや県内国際交流団体などにワークショップの講師やブースの出店などの協力をお願い、県民との相互理解・交流の促進を図った。

開催期日	内 容	参加者	開催場所
平成22年11月28日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・各国際交流団体活動紹介 ・民族衣装体験 ・ビーズアクセサリー ・アフリカンキルトパッチワーク体験 ・ヘナアート体験 ・フィリピンのゲーム体験 ・雑貨販売、フェアトレード商品販売 ・入国・在留手続き相談 ・青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの応募相談・NGOに関する相談 ・「花かごしま2011」PR ・パフォーマンス (ブラジル武術・カポエイラ、中国の舞踏、フィリピン伝統と現代のダンス、マレーダンス) ・JICA国際協力実体験プログラムに参加した高校生の報告会とワークショップ ・世界の食ひろば (ブラジル、フィリピン、中国、インド、日本) 	2,524名	かごしま県民交流センター各会場

開催期日	内 容	参加者	開催場所
平成21年11月21日(土) 22日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民族衣装・民族楽器体験 ・ 各国際交流団体活動紹介 ・ ビーズアクセサリー（国旗作り） ・ 民族楽器（サンポーニャ）作り ・ パッチワーク（ベジタブル）作り ・ プチ英会話 ・ フェアトレード商品販売 ・ 入国・在留手続きに係わる相談 ・ 韓国（全羅北道）観光案内 ・ 韓国琴（カヤグム）の演奏 ・ ヘナペインティング ・ 青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの応募相談 ・ KUFSA IDOL（歌のコンテスト） ・ ワークショップ（世界がもし100人の村だったら） ・ 世界の食ひろば （パキスタン、バングラデシュ、マレーシア、フィリピン、ブラジル、中国、インドネシアなど） 	5, 076名	かごしま 県民交流 センター 各会場

3 国際交流組織の連携・支援の強化

(1) 民間団体の国際交流・協力活動への助成（平成2年度開始）

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

団 体 名	活動目的・内容	助成額 (千円)
鹿児島県マレーシア友好協会	<p>(目的) 10周年の節目を祝う記念事業として、駐日マレーシア大使を招聘して「祝賀交流会」、マレーシア工業開発庁とマレーシア政府観光局の協賛を得て「マレーシア・セミナー」を開催し、マレーシアへの理解を深め、鹿児島及び日マ両国の交流促進と親善を図る。 併せて、10周年記念誌を作成してこれまでの交流の軌跡を確認すると共に、今後の活動についての指標としていく。</p> <p>(内容) 平成22年10月14日(木) ○マレーシア・セミナー 第1部 ビジネス講演会「マレーシア市場が持つ魅力」 第2部 マレーシアの観光事情「新発見！マレーシアの最新観光情報」 ○10周年記念祝賀交流会 ○10周年記念誌『深まる友好のきずな』発行</p>	343千円
鹿児島祇園睦會	<p>(目的) 香港最大の祭で、毎年旧正月に開催される香港チャイニーズ・ニュー・イヤー・パレードに「おぎおんさあ」の女神輿が参加し、現地の方々とパレードや懇談会等で交流を行うことにより、鹿児島と香港との交流の一層の促進を図る。</p> <p>(内容) 平成23年2月2日(水)～5日(土) ○ 香港の大学生等の協力者を交えてリハーサル ○ ニュー・イヤー・パレード本番 ○ 鹿児島PR展参加、香港在住県関係者との交流懇談会</p>	450千円
計2件	助成金交付額 793千円	

(2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進（平成11年度開始）

協会合併に伴う今後の運営課題や、災害発生時の在住外国人への情報伝達等、共通の課題や問題を抱える市町村等の職員を対象とした意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。

また、市町国際交流協会や国際交流団体間の情報交換及び連携を図るため、メーリングリストの活用を促進した。

年 度	開 催 日	参加団体	備 考
平成22年度	平成23年2月9日(水)	14市町村 2団体	市町村 市町国際交流協会
21年度	平成22年2月8日(月)	14市町村 5団体	市町村 市町国際交流協会
20年度	平成21年2月17日(火)	20市町	市町村

(3) 市町村との協働事業の実施（平成21年度開始）

市町村を対象に公募を行い、協働して国際交流事業を実施することを通して、地域の国際化、地域活性化を促進した。

年 度	開 催 日	参加人数	採択市	事業内容
平成22年度	平成22年12月24日(金) ～25日(土)	約530名	指宿市	観光特急がっつぐ国際交流推進事業
21年度	平成21年10月23日(金) ～24日(土)	86名	鹿児島市	多文化共生ワークショップ

(4) 全国組織等との連携

ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成22年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成22年5月31日	東京都
21年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成21年5月13日	東京都
20年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成20年5月29日	東京都

イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成22年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成22年7月15日～16日	長崎県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成22年11月11日	宮崎県
21年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成21年7月16日～17日	福岡県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成21年11月27日	佐賀県
20年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成20年7月17日～18日	宮崎県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成20年11月20日	熊本県

4 国際交流ボランティア制度の拡充

ボランティア活動の拡充・促進（平成2年度開始）

語学ボランティア（通訳，ガイド，翻訳含む）やホストファミリーボランティア登録者の拡大を図るとともに，登録者の充実した活動ができるよう支援した。

また，協会の各種事業において，ボランティアの活動の機会を提供するとともに，広報等に努めた。

(1) 登録者の状況（年度末現在）

年 度	ホストファミリー ボランティア	語学ボランティア
平成22年度	51家庭	55名
21年度	49家庭	66名
20年度	57家庭	56名

(2) 活動の状況

平成22年度	平成21年度	平成20年度
13件	11件	12件

(3) 活動実績（平成22年度）

ア ホストファミリーボランティア

名 称	期 日	家庭数
心連心：中国高校生長期招へい事業	平成22年9月～平成23年7月	1家庭
平成22年度香港城市大学日本語研修	平成22年7月17日（土） ～7月24日（土）	13家庭
鹿児島県青少年海外ふれあい事業	平成22年8月21日（土） 8月23日（月）	3家庭
個人	平成22年10月23日（土） ～10月24日（日） 平成22年11月6日（土） ～11月7日（日）	2家庭
JICA集団研修中の研修員受入	平成22年11月23日（火・祝）	4家庭
21世紀東アジア青少年大交流計画	平成22年12月5日（日） ～12月6日（月）	2家庭
JICA青年研修事業 タイ青年ホームステイ	平成23年1月21日（金） ～1月23日（日）	2家庭

イ 語学ボランティア

名 称	期 日	活動人数	内 容
海外観光船（レジェンド・オブ・ザ・シーズ号）受入時の通訳	平成22年4月20日（火）	1名	外国人観光客と鹿児島案内のスタッフとの間における通訳
全羅北道社会福祉施設従事者研修	平成22年6月20日（日）・22日（火）・24日（木）・25日（金）	2名	通訳・観光地への同行
第2回少林寺流国際親善空手道選手権大会	平成22年8月1日（日）	5名	大会や大会前後の親善交流等での通訳
海外観光船（コスタクラシカ号）受入時の通訳	平成22年8月6日（金）	1名	外国人観光客と鹿児島案内のスタッフとの間における通訳
第28回全国都市緑化かごしまフェア	平成23年3月18日（金）～5月22日（日）	3名	同フェアにおける通訳（案内所業務と兼務活動）
第20回日韓薬理学合同セミナー	平成22年11月27日（土）	1名	同セミナーに来鹿する方々の鹿児島市内観光への同行

第3 多文化共生の推進

1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

(1) 在住外国人のための日本語・日本理解講座の開催（平成16年度開始）

県内に在住している外国人を対象に、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等についての研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。

年 度			講座回数	受講者数	会 場
平成22年度	水曜日	前期	10回 (5月～7月毎週水曜日)	52名 (延べ数)	県民交流プラザ
		中期	15回 (9月～12月毎週水曜日)		
		後期	5回 (1月～2月毎週水曜日)		
	木曜日	前期	10回 (5月～7月毎週木曜日)	53名 (延べ数)	
		中期	15回 (9月～12月毎週木曜日)		
		後期	5回 (1月～2月毎週木曜日)		
21年度	水曜日	前期	10回 (5月～7月毎週水曜日)	52名 (延べ数)	県民交流プラザ
		中期	15回 (9月～12月毎週水曜日)		
		後期	5回 (1月～2月毎週水曜日)		
	木曜日	前期	10回 (5月～7月毎週木曜日)	42名 (延べ数)	
		中期	15回 (9月～12月毎週木曜日)		
		後期	5回 (1月～2月毎週木曜日)		
20年度	初 級	30回 (5月～2月毎週水曜日)	23名	県民交流プラザ	
	中 級	30回 (5月～2月毎週木曜日)	26名		

(2) 多文化共生地域づくり事業の実践（新規；平成22年度開始）

在住外国人等を対象として、多文化共生の地域づくりに資する講座・教室を開催した。

年 度	実 施 講 演	開 催 期 日	受 講 者 数
平成22年度	多文化共生地域づくり事業講演会&ワークショップ『みんながHAPPYに暮らすには』	平成22年6月19日（土）	54名
	書道教室～筆にふれてみよう～	平成22年7月11日（日）	20名

(3) 生活相談等

在住外国人の支援をするため、関係機関・団体等と連携しながら、各種の生活相談を行った。

【主な相談内容と件数（交流相談員の相談件数を除いた件数）】

ア 日本人相談内容

年 度	留学	外国 情報	外国語	交流	生活	ワーキング ホリデー	その他	合計
平成22年度	15件	31件	52件	42件	20件	7件	48件	215件
21年度	2件	14件	22件	18件	11件	6件	34件	107件
20年度	12件	20件	17件	11件	4件	—	40件	104件

※平成21年度より、『ワーキングホリデー』の項目をその他から細分化した。

イ 外国人相談内容

年 度	就労	観光	ビザ	生活	医療	その他	合 計
平成22年度	4件	7件	2件	8件	0件	5件	26件
21年度	1件	5件	3件	4件	0件	9件	22件
20年度	5件	3件	4件	8件	1件	25件	46件

(4) 相談・支援体制の充実

在住外国人からの相談等に応じる相談員を配置した。(再掲)

また、交流推進員及び交流相談員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

2 異文化交流の促進

(1) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催（平成18年度開始）

各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深める機会とするとともに、多文化共生の社会づくりを目指した。

年度	区分	開催期日	出場者	出場者出身国・地域
平成 22 年度	予選	平成23年 1月 8日（土）	19名	中国、韓国、マレーシア、ベトナム、インドネシア、ネパール、
	本選	平成23年 1月15日（土）	10名	中国、韓国、マレーシア、インドネシア、ネパール
21 年度	予選	平成22年 1月 9日（土）	25名	中国、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、ネパール、ボリビア、ナイジェリア
	本選	平成22年 1月16日（土）	10名	中国、韓国、インドネシア、ネパール
20 年度	予選	平成21年 1月10日（土）	31名	中国、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、タイ、ミャンマー、モンゴル、カナダ、イギリス、アメリカ
	本選	平成21年 1月17日（土）	10名	中国、韓国、ミャンマー、カナダ、イギリス、アメリカ

(2) KUFSA（鹿児島大学留学生会）主催「平成22年度KUFSA Photo Contest」への助成金交付

在住外国人や留学生が、地域社会の一員として県民と共に暮らす中で感じたことなどを写真を通して発表し、国籍や文化の違いを超えた相互理解・国際交流を深める取組みを支

援した。

年 度	開催期日	助 成 額
平成22年度	平成22年 3 月 4 日～ 3 月 7 日	2 2 千円

(3) 県国際交流員等による文化講座等の開催（再掲）

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

(4) 在住外国人による公募型国際理解講座の開催（再掲）

在住外国人が実施する国際理解講座を公募し、これらの外国人による講座の開催を支援することを通して、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成した。

(5) 国際交流プラザでの交流促進

来訪者同士の自由な交流（平成22年度開始）

国際交流プラザを訪れる外国人と県民とが気軽に談笑したり、情報や意見交換を行うなどの自由な交流を楽しむ場を提供した。

また、伝言板を設置して、イベント・不要品交換などの情報交換の場を提供した。

第 4 国際協力の推進

1 留学生への支援

(1) 研究活動費の助成（平成 3 年度開始）

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費の助成を行った。

年 度	対象者	助 成 金
平成22年度	3名	87千円
21年度	0名	0千円
20年度	0名	0千円

(2) 留学生の交流活動への支援（平成 5 年度開始）

東文子・外国人留生活動等支援事業会計を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成を行うなど、留学生の交流活動等への支援を行い、国際交流・理解をさらに促進した。

ア 留学生会等への支援

年 度	件 数	金 額
平成22年度	2件	8千円
21年度	2件	8千円
20年度	2件	8千円

イ 東文子・外国人留生活動等支援事業（外国人留学生交流活動事業助成金）

年 度	件 数	金 額
平成22年度	13件	458千円
21年度	12件	468千円
20年度	3件	487千円

(3) 留学生支援資金貸付制度の運営（平成 1 0 年度開始）

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息で資金の貸付を行った。

年 度	貸付件数	貸付額
平成22年度	5件	450千円
21年度	5件	500千円
20年度	3件	300千円

(4) 留学生住宅確保支援事業（平成 1 3 年度開始）

留学生が住居を賃借する際に、賃貸借契約の連帯保証人として機関保証することにより、留学生の円滑な住宅確保を図った。

年 度	件 数
平成22年度	51件
21年度	19件
20年度	15件

(5) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催（平成18年度開始）

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深めた。

開催日	参加者	開催場所
平成22年4月28日（水）	16名	かごしま県民交流センター
平成21年4月23日（木）	14名	
平成20年4月22日（火）	17名	

2 国際協力に対する理解の促進

(1) 青少年国際協力体験事業の実施（再掲）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

3 国際協力機関等との連携

(1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）

国際協力推進員の配置（平成8年度から）

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

【国際協力に関する情報提供、相談】

年度	開発教育	NGO	その他の国際協力	合計
平成22年度	90件	10件	270件	370件
21年度	80件	8件	245件	333件
20年度	65件	10件	240件	315件

(2) 財団法人国際協力推進協会（APIC）

「国際協力プラザコーナー」の設置（平成10年度開始）

APICから提供される国際協力に関する情報提供を行った。（パンフレット、書籍、ビデオ等）

(3) 財団法人日本ユニセフ協会

子供向け、学校向けのユニセフ視聴覚教材を揃え、貸出を行った。

ユニセフビデオ等の貸し出し（平成6年度開始）

平成22年度	平成21年度	平成20年度
29件	28件	14件

※平成22年度からはDVDやパネルの貸出数も含む

(4) 在外県人会の育成

ア 活動の支援（昭和62年度開始）

在外県人会が行う移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を支援するため、これらの業務を県人会に委託した。

委託先：ブラジル、アルゼンチン、ペルー、パラグアイ鹿児島県人会

イ 郷土情報の提供（昭和62年度開始）

在外県人会並びに県出身者に対して、グラフかごしま、県政かわら版、かごしまNOW等を定期的に送付し、郷土情報の提供を行った。

第5 協会体制の確立

1 管理運営の充実

(1) 国際交流プラザの運営（平成2年度開始）

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供に努めた。

ア 国際交流プラザ入館者数・会議室利用件数

年 度	入 館 者 数	会議室利用件数
平成22年度	40,510名	238件
21年度	40,736名	194件
20年度	45,083名	199件

イ 国際交流プラザの施設

設置年月：平成2年7月（平成15年4月移転）

施設総面積：433.46㎡（移転前193.08㎡）

施設の内容：交流サロン、情報資料コーナー（図鑑、ビデオ）、研修施設（会議）、メッセージボード

(2) 旅券業務の遂行（昭和62年度開始）

県の委託を受けて、かごしま県民交流センター内に設置されているパスポート窓口及び県内各地の地域振興局・支庁等において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。

また、県民サービスの一環として、印紙・証紙の販売及び旅券用写真撮影・販売業務を行った。

年 度	旅券交付件数	取 扱 事 務 所
平成22年度	28,583件	かごしま県民交流センター内パスポート窓口、 地域振興局（南薩、北薩、始良・伊佐、大隅）、 支庁（大島）、 事務所（屋久島、瀬戸内、喜界、徳之島、沖永良部）
21年度	27,819件	
20年度	28,389件	

2 組織基盤の確立

平成20年12月に施行された新しい公益法人制度への対応作業を進めた。

3 組織機構の拡充強化

新しい時代感覚と複雑多様化する国際交流・協力事業を円滑適切に遂行していくため、各種の研修等による職員の資質の向上に努めた。

年 度	研 修	実施期間	実施場所
平成22年度	旅券事務担当新任者研修会	平成22年6月3日～4日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成22年8月5日～6日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成22年9月16日～17日	東京都
	多文化共生の地域づくりコース研修	平成23年1月31日 ～2月4日	滋賀県

21 年度	旅券事務担当者実務研修	平成21年 5 月29日	鹿児島市
	多文化共生の地域づくりコース研修	平成21年 8 月24日～28日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成21年 8 月27日～28日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成21年12月10日～11日	東京都
20 年度	旅券事務担当者実務研修	平成20年 5 月16日	鹿児島市
	外国人住民相談相互支援システム利用研修会	平成20年 6 月20日	福岡県
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成20年 7 月 9 日～10日	東京都
	多文化共生社会対応コース研修	平成20年 8 月25日～29日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成20年 9 月11日～12日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成20年12月11日～12日	東京都

4 財源基盤の確立

- (1) 基本財産の適切な運用と事業推進に必要な財源確保に努めた。